

スマートフォンに関する 基礎知識について



①

Ver. 2.0（令和4年10月）

みなさん、こんにちは。

この講座では、スマートフォンに関する基礎知識について学びます。

1

スマートフォンとは？

スマホは高性能で多機能な「通話機能付小型パソコン」と認識しましょう。

ツール

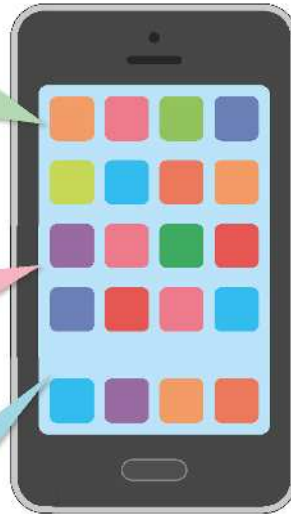
パソコンをベースに**電話機能**を加えたもの。
アプリを導入することで**機能追加**が可能。

画面

画面が**大きく**、動画なども見やすい。

操作

画面を指で操作する**タッチパネル方式**。



その他 スマホは…



- パソコンと同様、さまざまな**Webサイト**が自由に見られる。
- 通話や通信だけでなく、**電子マネー**などの**決済手段**としても利用されている。
- 操作をしていないときでもアプリの更新などで**通信している**ことがある。



ポイント

便利な機能がたくさんありますから、
操作や設定の方法を知っておくことが大切です。

②

スマートフォンは、簡単に言うと従来の携帯電話にパソコンの機能が追加されたものです。

画面も大きいので、文字や動画が見やすいです。

「スマートフォン」は略して「スマホ」ということもあります。

操作についても、タッチパネル式で見たままを触るだけで簡単に操作できるので、とても便利に使えます。

インターネットで調べ物ができたり、お財布代わりとして電子マネー決済もできるようになっています。

このように便利な機能がたくさん備わっているので、様々な操作や設定方法について知っておくことがとても大切です。

2

スマホなどのモバイル機器で利用する通信回線とは？

次の2つの方法があります。どの回線に接続されているかを意識しましょう。

キャリア回線



- 免許を持つ通信事業者(ドコモ、au、ソフトバンク、楽天)のことを**キャリア**と言います。
- キャリア回線は、通信事業者が“**基地局**”を介して提供しています。「4G」「LTE」などと表示されるものは、キャリア回線になります。
- 2020年からより通信速度の速い**[5G]**が始まりました。

無線LAN (Wi-Fi) 回線



- 誰にでも設置できる“**基地端末**”(=無線LANルーター)を介した無線の通信手段。
- 駅や役所のような公共施設や公共交通、コンビニや飲食店などで利用できます。
- 自宅に設置する人が増えています。(回線契約などが別途必要です)



ポイント

どちらにつなげて使うかを意識することで、電波の有効利用&キャリア回線を利用したデータ通信量の節約ができます。

③

持ち運びに適した電子機器のことを「モバイル機器」といいます。

スマホも「モバイル機器」の一つです。

「モバイル機器」で利用できる回線は主に2種類あります。

1つ目が、キャリア回線と呼ばれるものです。

免許を持っている各通信事業者が、基地局を介して提供しているものになります。

いわゆる「4G (フォージー)」や「5G (ファイブジー)」と呼ばれるものがこれにあたります。

2つ目が無線LAN (ラン) 回線、いわゆるWi-Fi (ワイファイ) と呼ばれるものです。

自宅で契約して回線を設置したり、駅などの公共施設や飲食店などで利用できたりと使用できる場所が増えてきています。

大切なのは、その場に応じて、どちらの回線につなげて使うかを意識することです。

それだけで、通信量を節約することができます。

3 スマホでできること

スマホは、いろいろな道具の代わりになります。

携帯電話



パソコン



電話



メール



写真



新聞



ラジオ



辞書



地図



時刻表



ビデオ



デジカメ



インターネット/SNS



本



音楽



ゲーム



動画

④

スマホでできることは、とてもたくさんあります。

従来の携帯電話の機能はもちろん、パソコンでよく使われるインターネットも利用が可能です。

従来の携帯電話でもインターネットの利用は可能ですが、パソコンに比べると情報量が少なかったり、画面も小さくて見にくいという点があります。

スマホでは、パソコンと同等の情報量を見ることができ、従来の携帯電話と比べても画面も大きいのでとても見やすくなっています。

SNS（エスエヌエス）も利用できるため、簡単に世界中の情報を確認できるようになりました。

その他にもいろいろな道具の機能を備えています。

例えば、新聞や本を読んだり、ラジオや音楽を聴いたり、地図を見たりできます。

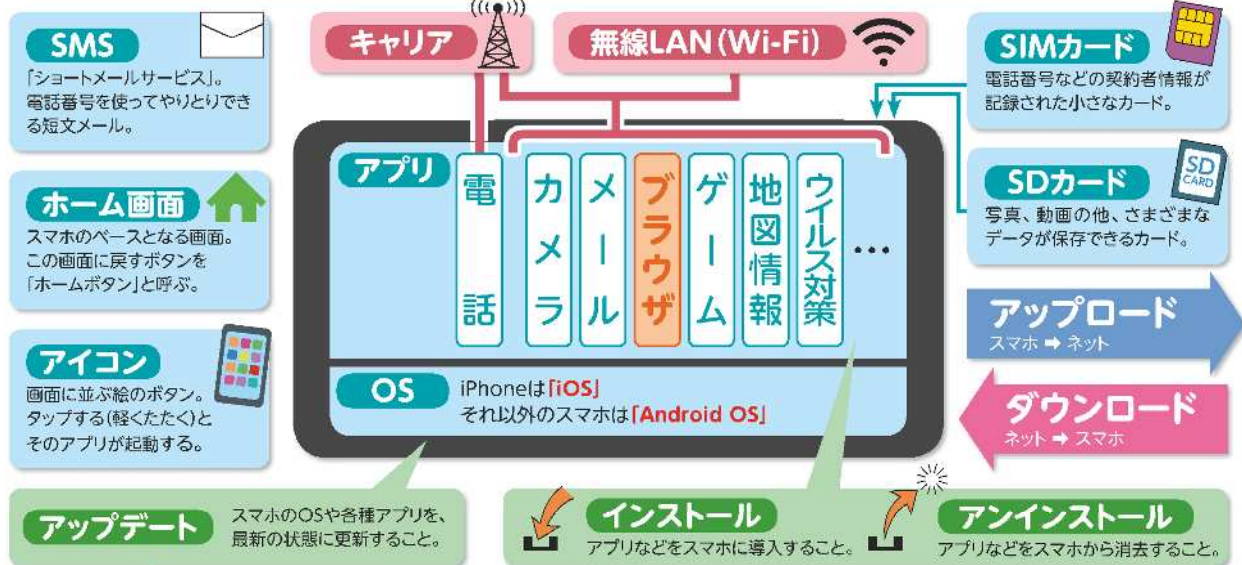
他にも、写真や動画の撮影ができるので、ビデオやデジカメの代わりとして使うことができます。

このようにスマホはいろいろな道具の代わりになり、またインターネットで世界中とつながることができる、とても便利なものです。

4

覚えておきたいスマホに関わる用語とは？

曖昧なまま使うのはトラブルの原因。このページの利用語を再確認しておきましょう。



ポイント

「あ、この用語、聞いたことがある！」と気づけば判断ミスも減り、トラブルの未然防止につながります。

⑤

ではここで、覚えておきたいスマホに関わる用語についてご紹介いたします。

まずは、よく使われる用語から見ていきましょう。

スマホには「ホーム画面」という画面があります。

折りたたみ携帯、いわゆるガラケーでいうところの待ち受け画面のことです。

次に「アイコン」ですが、これはアプリの絵のボタンを指しています。

指でアイコンをタッチすると、アプリが起動します。

また「インストール」はスマホにアプリを追加すること、「アンインストール」は反対にスマホからアプリを消去することです。

「OS（オーエス）」とは、スマホを使うための土台となるソフトウェアのことです。

「ソフトウェア」とは、スマホを動かす命令のことで、「ソフト」ともいいます。

iPhoneでは「iOS（アイオーエス）」、それ以外のスマホでは「Android（アンドロイド）」というソフトウェアが主に使われています。

「アプリ」とは「アプリケーション」の略で、特定の役割に特化したソフトウェアのことです。

電話のアプリは電話をするためのソフトウェア、カメラのアプリはカメラの機能を使うためのソフトウェアです。

また、アプリの中にある「ブラウザ」は、インターネットを閲覧するためのソフトウェアです。

スマートフォンに関する基礎知識の講座は以上です。